



金城学院報

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

vol.29
2017.07

【特集1】

中学校・高等学校では
次期学習指導要領を見据えた教育目標図に
大学も3学科でカリキュラム改定へ

【特集2】

中学校の中庭、いこいの庭で
長久寺遺跡初の本格的調査

金城学院の景色

金城学院幼稚園で元気に遊ぶ子どもたち

中学校・高等学校では 次期学習指導要領を見据えた教育目標図に 大学も3学科でカリキュラム改定へ

変わる金城学院
金城学院中学校・高等学校
KINJO GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL
&
KINJO GAKUIN HIGH SCHOOL

三つの力の育成をすべての教育活動で実践し
自分で考え、主体的に行動できる人に

教育方針

社会に参画し、主体的に生きる

表現

- ・自分の言葉で伝える。
- ・疑問を言葉にして伝える。
- ・表現することで自分の考えを客観的にとらえ、新たな学びにつなげる。

協働

- ・自分の考えを明確に伝え、他者の考えを聴く。
- ・対話から新たな発見をする。
- ・他者とともに目標を達成する。



科学的思考

- ・疑問をもち、課題を立てる。
- ・適切な情報を集め、それらをさまざまな角度から分析する。
- ・分析結果を総合して、課題を解決する。

金城学院中学・高等学校では、「科学的思考」「表現」「協働」の力を育てる教育を展開。

主体的に生きることのできる女性の育成をめざしていきます。

また金城学院大学では今年度より3学科で一部カリキュラムを改定。

文学部 外国語コミュニケーション学科は世界の文化を深く学ぶ二つのコースを新設し、より幅広い視野を身につけ、

国際情報学部 国際情報学科では海外キャリアトレーニングで国際力を養成、

人間科学部 コミュニティ福祉学科ではソーシャルウーマンの育成をしていきます。

金城学院中学校・高等学校では、文部科学省の次期学習指導要領を見据えて新しい教育方針として「科学的思考」「表現」「協働」の三つを打ち出しました。これら三つの力を伸ばすことで、教育方針にある「社会に参画し、主体的に生きる」女性の育成をめざします。この教育方針に込められた想いについて、高等学校の長屋頼子副校長とカリキュラム研究部長の柳瀬公代先生にお話を伺いました。

新しい教育目標図は2015年度の夏に行った教員ワークショップから生まれました。「三つの力をサークルで表現したのは、すべての教育活動においてこれらを実践してほしいという思いが込められています」と長屋副校長は話します。また柳瀬先生は「まずは学びを通して、自分の頭で判断し、考えることができる人になってほしい」といいます。

また今回の新しい教育方針の中で、長屋先生は「どんなコミュニティに

おいても、主体的に関わりながら自分の意見を持ち、しなやかに生きてほしい。そのために三つの力は必要であり、そのままキャリア教育にもつながります」と話し、柳瀬先生も「周囲に流されず、判断力のある人になるために身につけてほしい」といいます。高等学校では今後、学内の学びだけではなく大学でのワークショップなど学外での学びにも生徒の積極的な参加を促し生徒たちの三つの力を伸ばしていきます。

Ⅰ 実験・分析を通して探究のプロセスを理解し、協働力を身につける

高等学校では理系2年生の希望者を対象として、今年の夏に2日間かけて理数探究のワークショップを実施します。1日目はまず一学期で学んだ物理基礎の力学の知識をもとに教員が課題を提供し、その課題解決のための実験を生徒たち自身が考えて行います。

2日目は教員の指導のもとに実験

データの数学的分析を行い、議論を交わします。「探究のプロセスは仮説のもとで検証計画を立てて、観察や実験を行い、結果を分析することです。今回はこの大部分を生徒主体で行います」と物理を担当する山内麻記子先生。また数学を担当する中山大輔先生も「物理の実験結果を数学的に分析するのは生徒たちにとって

初の試みです」と話します。

山内先生はこの授業の目的として「まず探究のプロセスを理解してほしい」。また中山先生は「数学的な見方や考え方を応用することで、理科と数学につながりがあることも理解してほしいと思っています。探究を通して対話する力や協働する力、問題を見つける力を養ってほしい」と期待します。

Ⅰ 言語活動を通して論理的な意見の構築や表現力を育成

中学校・高等学校の英語では論理的思考を意識した言語活動に力を入れていきます。中学校の英語を担当する中野景介先生は「以前は英文を読む、聞くというインプット中心の授業が多かったのですが、今はアウトプットに重点を置いた授業を行っています」と話します。

今年の夏休みには高校2年生の希

望者を対象に、さらに深めるためのセミナーを開講する予定です。セミナーでは一例として、英字新聞やインターネットの記事を読んで要約し、自分で意見を組み立てて、それをもとにお互いに英語での質問や意見交換を行います。高等学校の英語を担当する水野志帆子先生は「生徒たちの表現力や発信力をより高めていきたい。今の社会

では自分の意見を明確にいえる人材が求められています。また英語でディスカッションを行なう機会もさらに増えると思います。自分の考えをしっかりと伝えるためにも、まずは論理的に意見をいえるようになることが大切です」と話します。新しい教育活動を通して、これからの時代に必要とされる資質を備えた女性を育てていきます。

世界の文化を深く学ぶ二つのコースを新設 海外キャリアアッププログラムがより充実

今年度、世界を広い視野から学ぶため、2年次に「海洋文化コース」と「大陸文化コース」に分かれるカリキュラムを新設。また海外キャリアアッププログラムなど、海外に出て外国語を学ぶ機会が増えました。これらの新カリキュラムについて外国語コミュニケーション学科の浅井邦昭教授と北原ルミ准教授に話を伺いました。

カリキュラム改訂では大きな変更点が二つあります。一つは世界の文化を広く、深く学ぶための二つのコース新設です。2年次に日本をはじめオセアニア、カリブ海地域、華僑・華人社会などの文化を学ぶ「海洋文化コース」と、インド、中国大陸、フランス、ドイツ、スイスなどの文化を学ぶ「大陸文化コース」にわかれます。「大陸と海洋で分け、地域を明確にすることで受験生もどの地域が学べるのかが分かるようになりました」と浅井教授。

1年次では「ディベート入門」に加え、「海洋コース入門」「大陸コース入門」

外国語コミュニケーション学科 三つのポイント

- POINT 1** 英語ともう1言語を使いこなせる人に
- POINT 2** 実践的プログラムで海外経験を積める
- POINT 3** 大陸・海洋の視点から世界の文化を理解する

1年生

入学時に三つの中から好きな外国語を一つ選択
会話・文法・実践・検定の授業を週5受講



2・3・4年生

二つの外国語を使って大陸と海洋の両方から世界を学ぶ

大陸文化コース

中国大陸

フランス

ドイツ、オーストリア、スイス

インド

海洋文化コース

華僑・華人社会

カリブ海、大西洋

オセアニア

日本

が2年次のコース選択のための基礎として必修になっています。また、新設された理論研究科目では、人文科学の基礎的方法論を学ぶことで、広い地域に理論を適用できるようになります。それにより、文化科目では従来の中国、フランス、ドイツと合わせて、さらに幅広い地域の文化を勉強していきます。

もう一つの大きな変更点は海外での学びの機会の充実です。「海外キャリアアッププログラム」と、国内外で外国人に日本語を教える「日本語教育プログラム」が用意されています。

科目では留学前の準備としてTOEFL対策講座を新設。新たな独自カリキュラムが3年次の中期(16週間)留学、カナダへの「英語圏セメスター留学」です。

「英語圏セメスター留学は徹底的に語学の力をつけるところが大きな特長。英語力を伸ばしたい学生にとって最適なプログラムです」と北原准教授。留学後は「英語スピーチ強化講座」で発信力に磨きをかけます。

中国、フランス、タイなど英語圏以外に行く学生も含め、海外での学びの機会が更に増加。

「海外から帰ってくると精神的にも強くなります。新カリキュラムで海外の体験を更に増やし、自分の世界を広げてほしいと思います」と浅井教授。北原准教授も「勇気をもって知らないことに踏み出せるような体験を積み、広い視野を持ってもらえれば」と学生の成長に期待を込めています。

海外キャリアトレーニングで グローバル化社会に必要な力を養成

海外での体験型プログラムや多彩な授業を通して国際社会の実情と世界の多様な文化を学びながら、ますます加速するグローバル化社会に必要なスキルと感性を身につける国際情報学部国際情報学科。中でも学びの柱となる海外研修のKIT(Kinjo International Training)は1年次の春休みに全員が参加。カナダホームステイ&語学研修プログラムや米国ユニバーサルスタジオでの映画制作プログラムなど七つのコースがあり、学生は目的に合わせて参加します。今回新たに設けられる「海外キャリアトレーニング」について同学科の齊藤由香准教授に話を伺いました。

海外キャリアトレーニングは、2年次の春休みに実施。「英語研修に現地の企業やNPOでのインターンシップを組み合わせ、KITより少し長めの4~6週間のプログラムです。アメリカ西海岸のサンディエゴは多民族、多文化の町として知られ、さまざまな価値観や文化に触れることができます」と齊藤准教授。「語学

学びの分野

国際社会

異文化に触れ、国際感覚を養う

地域研究

各国の政治や経済を理解する

現代社会

現代社会の実際を調べ、考える

国際ビジネス

世界経済とビジネス事情を知る

各業界と連携した実践的な学び

〈旅行・観光〉

企業提携授業

観光サービス論

観光サービス研究

観光ビジネス研究

〈貿易ビジネス〉

資格取得支援

通関業務研究

貿易実務研究

は少人数クラスでしっかりと学びます」とその魅力を語ります。

海外キャリアトレーニングはTOEICの点数やGPAなど、一定基準をクリアした学生が参加でき、選抜型の奨学金(20万円)もあります。「1年次のKITで早い段階から異文化に触れ、そこで得た学びをさらに発展させます。語学研修だけではなくインターンシップを経験することで、社会で求められるコミュニケーション力や企画実践力、環境適応力を身につけてほしいと思います」と齊藤准教授は話します。

またコースごとの新カリキュラムも始動。グローバルスタディーズコースでは旅行関連の資格取得をめざす学生に対して「世界遺産研究」を設置します。

また旅行・観光業界を実践的に学ぶ授業としてANAや名鉄観光と連携し、「観光サービス論」や「観光ビジネス研究」を展開。旅行や観光について専門的に学ぶことができます。

メディアスタディーズコースでは新規科目として「映像コンテンツビジネス論」を開講し、映画やアニメ、広告業界で活躍する人による講義を行います。「こうした学びを通してメディアを効果的に使って自ら情報を創造し、発信する力を養ってもらいたいと思います」と齊藤准教授。「一学部一学科として、グローバルもメディアも両方学んで多様な知識とスキルを身につけてほしいと思っています」と話します。

国際情報学科 グローバルスタディーズコース 三つのポイント

POINT

1

異文化を体験
世界へ目を向ける

POINT

2

教室の外でアクティブに
学ぶ機会が豊富

POINT

3

就職で役立つ国家資格
取得のサポートも充実

社会や地域と協働できる 「ソーシャルウーマン」を育成

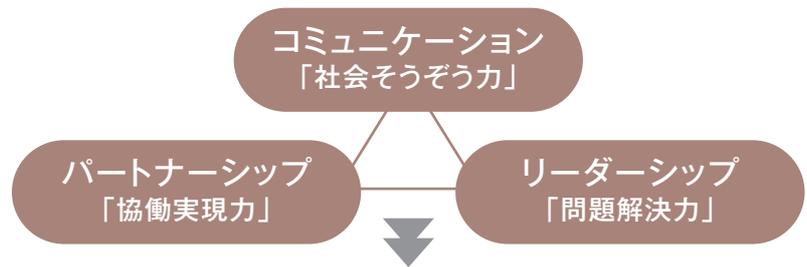
設立20年を迎えた人間科学部コミュニティ福祉学科は、福祉マインドで新しい社会を創造できる「ソーシャルウーマン」をコンセプトに、社会や地域と協働できるようになるために必要な「協働実現力」「社会そうぞう力」「問題解決力」の三つの力を養います。この新カリキュラムについて同学科の柴田学講師に話を伺いました。

「協働実現力とは行政や組織、地域とつながり、協働できる力。社会そうぞう力とは、問題を想像し、解決策を創造する力です。さらに問題解決力をつけることでリーダーシップを取れる女性をコミュニティ福祉学科ではめざします」と柴田講師は話します。「ソーシャルウーマン実践科目にはフィールドワークも取り入れて、自分たちで企画提案し、実践する力も身につけていきます。こうした力は福祉分野だけではなく、企業や非営利・協同組織などでも必要とされています」。

具体的には、1年次の科目に「ソーシャルウーマン総論」を設定。社会で活

ソーシャルウーマン実践科目

三つの力を身につけてソーシャルウーマンをめざす



ソーシャルウーマンとして社会へ

卒業後のさまざまな進路イメージ

一般企業で働く	公務員として働く
福祉系企業で働く	スポーツ健康施設・団体に働く
非営利・協同組織で働く	ソーシャルワーカーとして働く

大学院へ進学する

躍する女性を講師に招き、ロールモデルとして学びます。また2年次の「ソーシャルマーケティング論」ではマーケティング手法を応用した社会課題解決の方法を学びます。ほかにもウーマンプロジェクトとして社会貢献活動に参加し、振り返り報告も実施。外国人が入所・運営する福祉施設やホームレス支援の現場などさまざまなところでフィールドワークを行いながら、多文化共生や多世代交流づくりについて学び、応用力も磨きます。

3年次では「ファンドレイジング演習」を実施。「今はNPOでもクラウドファンディングを行なう時代。ファンドレイジングの力は社会貢献活動でも必要とされます」と柴田講師は話します。その他、企業の社会貢献や社会的責任を学ぶ

「CSR論」、スポーツ経済や経営を学ぶ「スポーツと社会」などを学修。特にスポーツの分野で活躍したい人は、初級・中級の障がい者スポーツ指導員の指定科目を履修することで資格も取得できます。

さらにソーシャルワーカーなど福祉の専門職をめざす学生にはソーシャルワーカー養成カリキュラムを用意。資格取得を手厚くサポートします。

こうした学びから「どんな職種や立場になっても、問題意識を持って社会貢献できる人になってほしい」と柴田講師。「協働できる仕組みの知識を学べば、社会を変えられる可能性もあります。福祉マインドでこれからの社会を創造できる人を育成していきたいと考えています」。

コミュニティ福祉学科 三つのポイント

- POINT 1 「福祉」の視点から人と地域を理解する
- POINT 2 多様な分野で活躍するための「三つの力」を養う
- POINT 3 体験型学習を通してリアルに学び、実践する

中学校の中庭、いこいの庭で 長久寺遺跡初の本格的調査

竪穴建物の集落跡、埴輪棺、円筒埴輪など 縄文から中世までの遺構と遺物を多数出土

長久寺遺跡の一部が敷地内にある金城学院中学校で、新築工事を前に埋没文化財の発掘調査が行われました。

区域は中学校の中庭(221㎡)と、いこいの庭(383㎡)。

長久寺遺跡の調査はこれまで数回行われましたが、断片的な記録が残るのみで本格的な調査は今回がはじめて。

調査の結果、中庭では縄文時代の竪穴建物2~3棟など縄文・弥生・古墳の各時代と、古代・中世の各時期の遺構と遺物、いこいの庭では縄文時代から中世に至る各時期の遺物1895点が出土しました。

Ⅰ 名古屋の考古学界にとって貴重な調査結果が次々、明らかに

2016年4月1日から6月3日まで、2地点で行われた今回の調査では、それぞれで大きな成果が得られました。出土した遺物について名古屋市教育委員会文化財保護室学芸員の木村有作さんに解説いただきました。

「今回の調査では縄文時代中期後半の竪穴建物2~3棟を検出。これにより集落としての様相が見えはじめたと言えます。弥生時代では前期の溝を検出。弥生時代以降も人々の土地利用は続き、古墳時代の前期、4世紀終わりから5世紀はじめごろの埴輪棺、そして埴輪の中で一番シンプルな形をした円筒埴輪の発見がありました。埴輪棺の近くには古墳が存在していた可能性が高いと思われます。埴輪棺と円筒埴輪の作られた時代は同じではなく、円筒埴輪は別の古墳のものを再利用したものと推測しています。埴輪棺は、名古屋市内ではほとんど見つかっていません。これだけ古い時期に作られた埴輪棺は、志段味古墳群の中社に次ぐもの

です。このような古い時期の埴輪棺が見つかったということ自体が名古屋の考古学にとって貴重な発見ということになります」

今回の発見により、周辺が非常に長い間、人々に利用されてきた場所だったということが明らかになり、長久寺遺跡の一端をより詳細に理解するための調査結果が得られました。

木村さんは「これを縁に、昔の人たちの暮らしを学ぶことは非常に有意義なことだと思います。この場所で昔の人はどんな暮らしをしていたのか、その痕跡が地面には刻まれています。残念ながら近々に出土したものの展示予定はありません。なるべく早い時期での公開をめざしての計画を立て、みなさんが歴史に触れる場をつくりたいと思っています」と話されました。



出土円筒埴輪(現在は名古屋市教育委員会文化財保護室で管理)



発掘作業の風景(撮影:杉浦秀昭)

(参考:「長久寺遺跡発掘調査報告書金城学院中学校建築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査」)

CLOSE UP

クローズアップ

金城学院大学 生活環境学部 食環境栄養学科
石田 淳子 准教授

大学卒業後、慈恵会慈恵病院に管理栄養士として就職。その後、静岡県立大学大学院に進学。JA静岡厚生連遠州病院^{※1}で勤務後、常葉大学^{※2}研究助手、助教、国立健康・栄養研究所協力研究員などを経て、2011年に金城学院大学に就任。専門分野は基礎栄養学、臨床栄養学。研究テーマはCKD患者の低栄養に関する検討。日本病態栄養学会学術評議員。

※1 在籍時:遠州総合病院

※2 在籍時:常葉学園 浜松大学

基礎から実践まで幅広い力を備えた 素敵な管理栄養士になってほしい

授業では基礎の科目を担当し、研究では腎臓病の患者さんの栄養療法について検討されている石田淳子先生。

ゼミではご自身の研究テーマのもと、学生の興味や関心に合わせて実験や演習を行っています。

また、実際に学会発表やレシピコンテストなどへの参加を促し、学生の主体性や意欲を高める学びも展開。

こうした学びを通して、「素敵な管理栄養士に育ってほしい」と日々願っていらっしゃいます。

Ⅰ 大学院や病院での経験が今の研究に

大学の授業で病気と栄養について学んだことがきっかけで、卒業後は病院で働きたいと思うようになりました。実際に病院の管理栄養士として仕事をするうちに、「もっと深く学びたい」と思うようになり、大学院の臨床栄養学研究室に進学したのです。

研究室の先生が腎臓病の医師だったため、CKD(慢性腎臓病)患者の低栄養改善という大きなテーマの中で、カルチニンという物質と筋肉量との関係を検討するために、患者さんの血液や透析廃液の分析などを行いました。大学院では実験手技だけでなく、計画の重要性や研究の進め方など研究の基礎を学んだため、とても大切な時間を過ごしたと感じています。

現在の研究もCKD患者さんを対象に、栄養が関わる合併症の予防や治療をテーマにしています。基礎研究も重要ですが、病院で管理栄養士として患者さんと関わった経験から、何をどう食べればよいか、患者さん自身が実践できる具体的な方法を提案することも大切な研究だと考えています。

ゼミの学生たちもこの研究テーマに沿って、実験が好きな学生は食品分析、栄養教育に興味のある学生は栄養指導用の媒体作成、食事に興味のある

学生は栄養療法に見合うレシピの検討というように、それぞれ活動しています。

また、学会発表や小冊子の発行など、学生の活動は外に発信するように努めています。先日、日本病態栄養学会が開催する糖尿病レシピコンテストにゼミの学生が応募しました。無事に一次審査を通過し、学会当日に京都で

行われる調理審査、プレゼン審査に向けて、何度も調理工程を見直し、発表練習を重ねた結果、優秀賞をいただきました。大きな会場での発表はとても緊張したと思いますが、制限時間ぴったりのしっかりしたプレゼンに努力の成果が伺えて、アクティブラーニングによる成長を実感しました。

Ⅱ 基礎をしっかり身につけ、学生生活の中で成長を

管理栄養士養成過程では、4年間かけて基礎から実践まで学んでいきます。

私が担当している基礎栄養学は1年生の科目で、体内で栄養素がどう消化・吸収、代謝されていくかを学びます。低学年ではヒト・栄養・食べ物に関する基礎を学ぶため、生物や化学の知識が必要な授業がたくさんありますが、この時期に身につけたことが上級学年

の実践的な学びにつながっていきます。

また、管理栄養士は人と関わる職業なのでコミュニケーションも大切です。私は金城学院の教育スローガンである「強く、優しく。」という言葉が好きで、自分もそうありたいと思っています。学生には学生生活を通してたくさんの人と接し、強く優しい管理栄養士に育ってほしいと願っています。

石田先生はどんな人!?

ゼミの4年生に、石田先生の印象を伺いました。全員から聞かれたのは「優しい」という言葉。「いつも笑顔で包み込んでくれる」「学生思い」などの声も聞かれ優しく温かいお人柄がよく窺えます。また「授業がわかりやすい」「丁寧に教えてくれる」「一対一できちんと接してくれるのが嬉しい」など、学生から大変頼りにされていらっしゃることもわかりました。



CLOSE UP
クローズアップ

金城学院中学校

加藤和幸 先生

1957年愛知県生まれ。名古屋工業大学卒業。公立学校教員の後、1989年から金城学院中学校数学科教員に。その後高等学校へ移動し数学と情報の教鞭を執る。2007年からは進路指導課長も担当。2010年キャリアカウンセラー資格取得。現在は中学校の数学を教え、今年度からは企画広報も担当。

さまざまな経験と学びを通して 心豊かな女性に成長してほしい

大学時代の経験を通じて、教えることのやりがいに気付かれた加藤和幸先生。

金城学院高等学校で長年、数学、情報、進路指導に携わり、現在は金城学院中学校で「数学の楽しさ、奥深さを伝えたい」と、ICT(情報通信技術)を取り入れた、よりわかりやすい授業の研究を続けていらっしゃいます。

学校生活を通し、友達や先生、先輩後輩とのつながりを大切に

「心深く、豊かな大人になってほしい」と日々、生徒たちの指導にあたられています。

Ⅰ 物事を俯瞰で見る力を身につけ、理解できる喜びを知る

中学校・高等学校を通して数学は好きな科目でした。大学へ進学するとき、「将来はコンピューターの時代が来る」と考えて工学部へ進学しました。大学の大型コンピューターでプログラミングを学び、4年生では圧電センサーを研究。ますますその面白さにのめり込んでいきました。

卒業後はコンピューター会社のエンジニアになりたいと思っていたのですが、大手予備校でチューターのアルバイトをはじめたことで人生が変わりました。数学の勉強法などを教えるうちに「先生の教え方はよくわかる」といわれ、やりがいを感じられるようになったのです。徐々に教えることへの楽しさや魅力を感じるようになり、教員の道を選びました。

教員になって37年を迎えますが、数学の楽しさや奥深さを伝えたい思いで、わかりやすい授業をずっと心がけています。数学の面白さは、理解する喜びが得られることです。いろいろなことを学び、知識を重ねていくと、物事を俯瞰で見ることができるようになります。今まで断片的に学んでいたことが一つにつながり「こういうことだったんだ!」と理解ができたときの感動を生徒たちにも知ってもらいたい。俯瞰でき

てようやくやっていたことの意味がわかり、その深さが見えてくるのです。数学に限らず、歴史や文学もそうだと思います。文化や背景が分かると、より文学や歴史も楽しくなる。それらを深く知り、俯瞰できた瞬間は大人でも楽しいものです。

また、建築中の新校舎には全教室に電子黒板が導入されます。そこでICTを積極的に活用し、さらに新しい学びへと広げていきたいと考えています。近い将来、ICTを利用した学びの方法が大きく変わる授業のイノベーションが起こることを信じています。

Ⅱ 学校生活で人間関係を育み、本物に触れる経験を

ただ、いくら科学的な進歩で、どこに居ても授業が受けられるような時代になったとしても、学校でしか学べないこともたくさんあります。それは人と人との交流です。学校生活は社会の縮図。友達や先生、先輩、後輩など多くの人と関わりながら、ぜひ自分自身を成長させてほしいと思います。

金城学院には、キリスト教主義に基

づいた深い学びができる環境があります。中高一貫教育の6年間で多彩な教育プログラムを実践し、さまざまな形で本物に触れることができます。このすばらしい環境の中で、理解する喜びを実感しながらいろいろな経験を積んでほしい。またこれら多くの学びを通じて、心豊かな大人になってほしいと願っています。

加藤先生はどんな人!?

昨年度担任クラスの級長と副級長、顧問のバレー部員に先生の印象を聞きました。「明るくて授業もわかりやすいです」「優しくてノリがよく、癒し系の先生です」と温かなお人柄が窺える声が聞かれました。部活動でも「心が広く愛に満ち溢れた先生。指導するときは怒らず優しく注意してください」「生徒思いで、私たちの相談に乗ってくださる先生です」と親身に指導される様子が窺えました。





吉田年一客員教授が ハンドベルを寄贈

Ⅰ 音域と演奏曲の幅が広がる

金城学院でハンドベルクワイア講師として約30年もの長きにわたり指導をされている吉田年一客員教授が、3月31日にハンドベルを寄贈されました。

寄贈されたのは6オクターブと7オクターブのハンドベル(19個)、5オクターブのハンドチャイム(61個)。20年ほど前から大学ハンドベルクワイアが借用し、学生たちが使っていましたが、

今回あらためて寄贈されたことについて、吉田先生は「金城学院のハンドベルの伝統や演奏レベルを思い、ぜひ今後とも使ってもらいたいと思いました」と話されます。

「6オクターブや7オクターブという音域の広いハンドベルを持っているグループは少なく、音の厚みが増し、演奏曲の幅も広がります。曲の難易度



金城学院ハンドベルクワイア講師
吉田年一客員教授

も高くなりますが、その分、学生のレベルアップにもつながります。金城学院にハンドベルクワイアがある限り、ぜひ使い続けてほしいと願っています」とも話されました。

Ⅱ 伝統を受け継ぎ、協調性を養ってほしい

ハンドベルクワイアは昨年3月に行われたアメリカ演奏旅行中、全米のハンドベル愛好家らが集う大会でコンサートを開催。またワシントン州やデイズニーワールドなどでも演奏を行いました。「大会ではハンドベルのプロもいる前での演奏でしたので、学生もかなり緊張したと思いますが大変好評をいただきました」と吉田先生も笑顔で話されます。

また27年間開催されているクリスマスコンサートではチャイコフスキーの「花のワルツ」とルロイ・アンダーソンの

「クリスマス・フェスティバル」を必ず毎年演奏します。特に「花のワルツ」は吉田先生による編曲であり「金城学院といえばこの2曲といただく方もいます。こうしたハンドベルクワイアの伝統を守り続けたいと思っています」。また学生にはハンドベルを通じて協調性を養ってほしいとも話されます。「ハンドベルは1人ではできない楽器。1人はみんなのためにあるというハンドベルの精神は社会でもきつと役に立ちます」。吉田先生のこうした思いを胸に、学生たちは日々練習に励んでいます。

ハンドベルクワイア部長
英語英米文化学科4年
宮下奈々さん



ハンドベルは中学からずっと続けています。普段は12月のクリスマスコンサートを目標に練習し、また教会や病院などで演奏奉仕も行っています。

部長として、初心者の学生が練習についていけるようにサポートすることを心がけています。また自分の演奏をしながら周りの音を聞いて指導ができるよう、練習に臨むようにもしています。

今回、吉田先生からハンドベルを寄贈していただき大変感謝しています。音域は広がれば広がるほど演奏に深みが出るので、とても嬉しく思います。ハンドベルは1人では成り立たないので協調性が大切です。みんなで力を合わせて演奏し、お客様から喜んでいただけたときは言葉にできない達成感があります。これからも金城学院のハンドベルクワイアが国内外で活躍できる存在であるよう、頑張っていきたいと思っています。



ハンドベルクワイアの練習風景

幼稚園では自然も先生



Ⅰ 生き物いっぱい見つかる「こんちゅうジャングル」

私たちの幼稚園は大学構内のたくさんの自然に囲まれ恵まれた環境の中にあります。もちろん園内にも魅力溢れる自然が広がり、今回は子どもたちが大好きなその園庭を紹介したいと思います。

2009年に金城学院120周年記念事業として「子ども道」を南側に設置し



ていただきました。そこは、沢山の木に囲まれ、緑豊かな場所となりました。雑草が茂り昆虫たちには絶好の住処となっているため、子どもたちは「こんちゅうジャングル」と呼んでいます。ダンゴムシやカマキリ、バッタをたくさん見つけることができるこの道は、子どもたちのお気に入りの場所です。夏にはタモと虫カゴを持って1時間以上虫捕りを続ける子もいます。自分で見つけた虫は特別かわいく「飼いたい!」と保育者やおうちの方におねだりする子も。一生懸命お世話をしたり、泣く泣く逃がしてあげたり、ときにはお世話を忘れて死なせてしま

うこともあります。生き物は子どもたちに命の大切さを教えてくれる先生です。虫捕り以外でも、散歩したり、カキヤビワの種を拾い集めたり、カラスノエンドウ(ピーピー豆)を見つけ、中の種を集めたり、笛作りに挑戦したり様々な遊びを見つけ楽しむことが出来ます。

ビワの木の一つは何年も前に子どもが植えた種が芽を出し、今では実ができるほど立派に育っています。自然と触れ合う中でその事象に興味関心を持ち、考え行動に移して遊ぶ子どもたち。気持ちのよい陽だまりの中、今日も新しい発見を楽しみます。

Ⅰ おいしい実のなる木

「先生!この実食べられる?」桜の実などの食べられない実は、子どもたちの砂場遊びや色水作りとして活用されます。では食べられるおいしい実をつける木は園内にどのくらいあるのでしょうか。イチゴ、ジューンベリー、ユスラウメ、ブルーベリー、ヤマボウシ、ブラックベリー、ウメ、ビワ、シャシャンボ、ブドウ、カキなど

沢山の自然の恵みがいただけます。「これはねー、ジューンベリーっていうんだよ!でも赤い実は食べちゃダメだからね。黒くなってからがおいしいんだから!」と食べることが大好きな子どもは、どの実が美味しいのか経験から学んで仲間に伝えて分け合います。収穫した子たちは「おいしベリー食べたい人



〜?」と各クラスに声をかけながら配り、みんなで食べ物喜びを分かち合います。

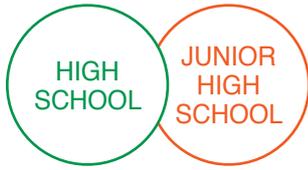
採った実はそのまま食べたり、凍らせて保存しジャムにしておやつでいただくこともありました。ウメジュースを作った年は、夏の年長児のキャンプでいただき、汗をいっぱいかいた子どもたち



にとって、甘すっぱくとても好評でした。

実際に実がなっているところを見て、自分で収穫し食べることで、五感を使い体いっぱい自然を取り込むことが出来ます。

まだまだ紹介しきれませんが、沢山の自然に触れ、季節の移り変わりを身体中で感じ、裸足で遊ぶことができる。この恵み豊かな自然を造られた神さまに感謝し、今日も子どもたちは元気いっぱい園庭を駆け回っています。



健康増進を考えたお弁当を 中学校と高等学校で販売開始

Ⅰ 大学の食環境栄養学科丸山智美教授が監修

中学校と高等学校では、4月12日よりお弁当の注文販売を行っています。そのきっかけとなったのは、私学展や学校説明会です。共働き家庭の保護者から、「毎日お弁当を作ることが難しいときもある」「お弁当の販売はありますか?」との声が上がりました。「金城学院で学びたくてもこうした理由から入学を断念せざるを得ない生徒もいるかもしれない」ということから、昨年10月よりお弁当販売の検討を開始。金城学院として安全・安心で食育につながるお弁当を販売しようと、思春期の女子の体や健康について研究を行っている金城学院大学生活環境学部食環境栄養学科の丸山智美教授に監修していただくことになりました。

お弁当の販売会社は、数ある中から料理のバランスや彩りが一番よかったところに決定。メニューは毎回、丸山教授がチェックを行います。「エネルギーやタンパク質、脂質などを『日本

人の食事摂取基準』を基準にしてチェックします。特に食塩相当量は多くなりがちなので、注意しています。また女子のお弁当なのでデザートを一品入れています」と丸山教授。「食塩や脂質が多い場合は食材を変更してもらう、下味を抑えてもらうなど、毎回きめ細やかに指導します。またエネルギーが低くなりすぎないようにすることも大切」だと話します。「食事による摂取エネルギーが不足すると、お菓子などの間食をしてしまい、栄養バランスが悪くなります。お弁当はエネルギー量も考えて作られて



メインや副菜など彩り豊か

いますので、これくらいのおかずやごはんはしっかり食べてもらいたいと思います」。

今年2月には希望者による試食会を開催、5日間でのべ230人が試食し「おいしい」「温かい

ご飯がうれしい」などの声が聞かれました。また3月1日より5日間、中学校で試験販売も実施。初日は65食でしたが、メニューやおいしさが評判を呼んで最終日は158食も販売されました。1食450円で、現在は高等学校で1日平均30から50食、中学校で70~100食の注文があります。

今後は保護者向けの試食会や丸山教授による栄養の講演会なども検討予定。健康増進と食育を考えた金城学院ならではの弁当は、忙しいお母様方をバックアップし、生徒たちの健康も促します。





読書感想画中央コンクールで奨励賞 金城学院中学3年生、赤尾あゆみさん

Ⅰ 渦とグラデーションで時間の流れを表現

金城学院中学校3年生の赤尾あゆみさんが全国学校図書館協議会第28回読書感想画中央コンクール中学校の部で奨励賞を受賞しました。全国で70万1000点を超える応募作品の中から選ばれたもので、本を読んだ感動や感想を絵で表現する感想画での入賞は金城学院中学校で初の快挙です。

赤尾さんが描いたのはミヒヤエル・エンデ「モモ」。小学校5年生のときに最初に読んでから、何度も読み返した大好きなファンタジー作品です。

「読んだ年齢によって物語から伝わってくるものが違う作品でした。時間について考えさせられたり、モモの生き方に共感できるところが選んだ理由です」と赤尾さん。

「モモの光の部分と灰色の男たちと

いう時間泥棒が放つ陰の部分の対比、そして物語に出てくる時間の花の三つを中心に描きました」。夏休み中の2週間をかけて完成。元々読書も絵を描くことも好きで、「モモ」がくれた感動を絵で表現したいとの思いで取り組みました。

「時間の流れを表現することが一番難しかったです。渦をグラデーションのように描き、モモの周りからは黄色で暖かさを、灰色の男たちからは冷たいイメージを暗い色で表しました」。何回も読んで下書きを構成、色と気持ちを重ねていきました。

「筆を進めるうち、

モモの感情が今まで以上に伝わってくると同時に、描いている時間が長かった分、灰色の男たちのことも考えながら描いたので、作品の見方が広がりました。これからもいい本との出会いがあればまた描いてみたいです。そのためにも本をたくさん読みたいと思っています」と赤尾さんは話していました。



2016年度卒業生進路状況

今年度の金城学院大学への進学者数は、内部推薦者188名に一般推薦・受験での進学者20名を加えて計208名(卒業生全体の55%)で、内部推薦では多くの生徒が第一希望の学科に進学することができました。

外部受験コースでは国公立大学合格者が

東京外国語大学1名・名古屋工業大学3名・名古屋市立大学4名・岐阜大学3名・九州大学1名など合計18名となりました。

私立大学へも早稲田大学6名をはじめ慶應義塾大学2名、上智大学3名、東京理科大学2名、青山学院大学9名、明治大学7名、立教大学13名、同志社大学6名、立命館大学

8名、南山大学47名、愛知医科大学(医)2名、愛知学院大学(歯)2名など多くの合格者をだすことができました。

また、「協定校推薦制度」を利用し、関西学院大学へは12名、同志社女子大学へは4名の生徒が進学をしていきました。卒業生の今後のご活躍をお祈りしています。

国公立大	15	専修・各種学校	0
私立大	129	就職	0
金城学院大学	208	進学準備	23
国立短期大学	0	その他(海外大学進学)	1
私立短期大学	4	卒業生総数	380

(進学者実数)

2016
年度

決算報告

金城学院の2016年度の決算について、お知らせします。学校法人では学校法人会計基準という法令に基づき計算書類(決算書)を作成しますが、ここでは、事業活動収支計算書、貸借対照表、資金収支計算書の3表によって決算概要を説明します。

収支の概要

事業活動収支計算書は、次の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容並びにすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにする計算書類です。

教育活動収支は、学生・生徒・園児への教育並びに研究活動に係る収入と支出の差額であり、2016年度△1億2千5百万円と

なっています。

教育活動外収支は、教育活動以外の経常的な活動に係る収入と支出の差額であり、2016年度5千5百万円となっています。

特別収支は、その他の臨時的な活動に係る収入と支出の差額であり、2016年度は建物取り壊しによる資産処分差額の増額により△12億3千5百万円となっています。

これらの結果、基本金組入前当年度収支差額△13億5百万円となっています。

また、学校法人では、必要な資産を継続的に保持するため、教育・研究のために取得した固定資産の金額を基本金として留保しなければなりません。2016年度の基本金組入額は10億7千8百万円になり、その結果、当年度収支差額は△23億8千2百万円となりました。

◎ 2016年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支		
収入	学生生徒等納付金	8,186,239
	手数料	132,590
	寄付金	68,761
	経常費等補助金	1,302,162
	付随事業収入	66,523
	雑収入	203,030
	教育活動収入計	9,959,306
支出	人件費	5,573,895
	教育研究経費	3,741,236
	管理経費	768,053
	徴収不能額等	1,354
	教育活動支出計	10,084,538
教育活動収支差額	△125,232	
教育活動外収支		
収入	受取利息・配当金	81,780
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	81,780
支出	借入金等利息	26,582
	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	26,582	
教育活動外収支差額	55,198	
経常収支差額	△70,034	

特別収支		
収入	資産売却差額	106,800
	その他の特別収入	41,563
特別収入計	148,363	
支出	資産処分差額	1,382,974
	その他の特別支出	0
特別支出計	1,382,974	
特別収支差額	△1,234,611	
基本金組入前当年度収支差額	△1,304,645	
基本金組入額合計	△1,077,666	
当年度収支差額	△2,382,311	
前年度繰越収支差額	△6,514,615	
基本金取崩額	1,544,906	
翌年度繰越収支差額	△7,352,020	
(参考)		
事業活動収入計	10,189,449	
事業活動支出計	11,494,094	

◎ グラフで見る教育活動収支

学生生徒等納付金

授業料、施設設備費、実験実習料などの収入です。

82.2%

収入

寄付金 0.69%

卒業生、企業等から頂いた寄付金です。

手数料 1.33%

入学検定料や証明書発行手数料などの収入です。

2.71%

その他の収入

付随事業収入、雑収入などの収入です。

経常費等補助金

国や地方公共団体から受けている補助金です。

13.07%

支出

人件費

全ての教員・職員の給与、所定福利費などの経費支出です。

48.49%

その他の支出

借入金の利息などの経費支出です。

管理経費

教育研究に直接関係しない経費支出です。

教育研究経費

授業や実習などの教育に関する経費と教員・学生の研究に関する経費支出です。資格講座、就職講座の経費なども含まれます。

12.28%

6.68%

32.55%

資産・負債・純資産の概要

貸借対照表は、年度末における財政状態を明らかにする計算書類であり、資産・負債・純資産を示しています。

資産は、土地・建物等の有形固定資産、将来の特定の支出に備えるための資金を留保した特定資産、ソフトウェア等のその他の固定資産、現金預金等の流動資産から成っており、2016年度末511億7千

2百万円となっています。

負債は、返済期間が一年以内に到来しない借入金等の固定負債、返済期間が一年以内に到来する借入金・前受金等の流動負債から成っており、2016年度末108億4千6百万円となっています。なお、負債に含まれる借入金は、金城学院キャンパスマスタープラン[KMP21]によるキャンパス

の大規模リニューアルに伴う日本私立学校振興・共済事業団からの借入金です。

純資産は、外部へ返済の必要のない金城学院に完全に帰属する資産総額であり、正味財産と呼ばれています。これは、2016年度末403億2千5百万円となっており、2015年度末416億3千万円から13億5百万円減少しています。

◎ 2016年度 貸借対照表

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末
有形固定資産	35,312,035	36,108,473
特定資産	8,270,000	9,030,166
その他の固定資産	72,937	86,216
流動資産	7,516,835	7,539,178
資産の部合計	51,171,806	52,764,033

科目	本年度末	前年度末
固定負債	8,946,616	9,372,085
流動負債	1,899,693	1,761,806
負債の部合計	10,846,309	11,133,891
基本金	47,677,518	48,144,757
繰越収支差額	△7,352,020	△6,514,615
純資産の部合計	40,325,498	41,630,143
負債及び純資産の部合計	51,171,806	52,764,033

資金の動きの概要

資金収支計算書は、一年間のすべての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにする

計算書類です。2016年度は教育研究のための経費として、22億6百万円の資金が使われ、教育研究の充実が図られまし

た。また、2016年度の支払資金の残高は、72億4千5百万円となっています。

◎ 2016年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	
学生生徒等納付金収入	8,186,239
手数料収入	132,590
寄付金収入	78,954
補助金収入	1,325,367
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	66,523
受取利息・配当金収入	81,780
雑収入	203,030
借入金等収入	0
前受金収入	1,184,421
その他の収入	5,044,437
資金収入調整勘定	△1,358,499
前年度繰越支払資金	7,235,890
合計	22,180,733

支出の部	
人件費支出	5,540,973
教育研究経費支出	2,206,477
管理経費支出	538,135
借入金等利息支出	26,582
借入金等返済支出	344,751
小計	8,656,918
施設関係支出	2,171,027
設備関係支出	165,082
小計	2,336,109
資産運用支出	1,510,200
その他の支出	2,545,638
資金支出調整勘定	△113,008
翌年度繰越支払資金	7,244,877
合計	22,180,733

2018
年度

金城学院 学生・生徒・園児募集

2018年度の学生・生徒・園児の募集につきましてご案内いたします。

入試に先立ち、オープンキャンパスや説明会なども開催いたしますので、ぜひご参加ください。

また大学・大学院で学び直したい方、新たな資格や学位の取得をお考えの方、お子様の進路などにぜひご案内ください。

下記の内容は2017年7月現在の情報となっております。変更される場合もございますので必ず各入試の「募集要項」をご確認ください。

2018年度入試

※詳しくはホームページをご覧ください。

▶年間学費が50万円になる!「金城サポート奨学金」 センター利用(前期)の対象枠を拡大し、新たに50名を追加!

・2年次以降も各学科での学業成績が上位40%以内であれば、継続して給付されるので安心です。返還の義務もありません。

給付対象 一般入試(前期)[2・3科目型] 成績上位者100名、センター試験利用入試(前期) 成績上位者100名!

▶ネット出願で、入学検定料の負担を軽減!

・インターネットで出願すると、簡単に手続きができ、入学検定料も軽減されます。

対象入試 一般入試(前期・後期)、センター試験利用入試(前期・後期)、センタープラス方式入試



▶社会人の方へ 奨学金20万円給付!

・社会人入試(大学・大学院)、社会人編入学(大学)での入学者全員に奨学金20万円を給付。

大学・大学院入試
TOPICS

	入試種別	出願期間	入試日	合格発表日
大学	一般公募制推薦入試※1	10月27日(金)～11月 2日(木) 必着	11月11日(土)	11月24日(金)
	一般入試(前期) [2科目型・3科目型・複数日評価型]※2	1月 5日(金)～1月20日(土) ネット出願 1月 5日(金)～1月19日(金) 郵送(消印)	1月31日(水)・ 2月1日(木)・2日(金) ※薬学部は、1月31日(水)と 2月2日(金)のみ実施	2月10日(土)
	センター試験利用入試(前期)※3	1月 5日(金)～1月15日(月) ネット出願・郵送(消印)	個別試験なし	2月10日(土)
	センタープラス方式入試※3	1月 5日(金)～1月26日(金) ネット出願 1月 5日(金)～1月25日(木) 郵送(消印)	2月 8日(木)	2月16日(金)
	一般入試(後期)	2月10日(土)～2月23日(金) ネット出願 2月10日(土)～2月22日(木) 郵送(消印)	3月 3日(土)	3月 7日(水)
	センター試験利用入試(後期)※3	2月22日(木)～3月 9日(金) ネット出願 2月22日(木)～3月 8日(木) 郵送(消印)	個別試験なし	3月16日(金)
	一般編入学試験	6月14日(水)～6月21日(水) 必着	7月 1日(土)	7月 7日(金)
	社会人・外国人留学生・海外帰国子女入試 社会人編入学試験	11月20日(月)～11月27日(月) 必着	12月 9日(土)	12月15日(金)
薬学部編入学試験(4年次)	2月16日(金)～2月23日(金) 必着	3月 8日(木)	3月16日(金)	
[窓口受付時間]9:00～17:00です。※1一般公募制推薦入試(適性検査型)(小論文型)は地方試験会場を設けています。地方試験は豊橋・岐阜・四日市で実施します。 ※2一般入試(前期)1月31日(水)・2月2日(金)は地方試験会場を設けています。地方試験は浜松・岐阜・四日市・金沢で実施します。※3センター試験を受験していることが出願条件となります。				
大学院	在学生特別入試(前期課程①)	4月21日(金)～5月 1日(月) 必着	5月13日(土)	5月18日(木)
	秋期試験 在学生特別入試(前期課程②)※4・後期課程 卒業生特別入試秋期	9月26日(火)～10月 3日(火) 必着	10月14日(土)	10月19日(木)
	春期試験 卒業生特別入試春期	1月30日(火)～2月 6日(火) 必着	2月17日(土)	2月22日(木)
	※4臨床心理学分野は実施しません。			
中学校	中学校入試	1月 4日(木)～1月11日(木) ※ネット出願のみ	1月20日(土)	1月23日(火) 郵送(速達)
	学校説明会 6月17日(土) 場所/金城学院高等学校 学校説明/9:30～10:30 11:00～12:00 体験授業・校内見学/9:30～13:00 お問い合わせ先:中学校事務室 TEL. 052-931-0821(代表)/受付時間9:00～17:00		入試説明会 11月4日(土) 場所/金城学院中学校 入試説明/10:00～12:30	
幼稚園	幼稚園体験及び入園説明会		願書配付	
	5月の連休明けから幼稚園体験・入園説明会の予約を受け付けています。(随時受付) お問い合わせ先:幼稚園事務室 TEL. 052-798-0053(代表)/受付時間14:00～17:00 ※詳しくは幼稚園ホームページをご覧ください。	9月1日(金)9:00～ 願書配付は幼稚園体験・入園説明会に参加された方を対象にしています。ぜひ、幼稚園体験のご予約をください。	願書受付 10月2日(月)9:00～ 優先入園枠があります。 詳しくは幼稚園へお問い合わせください。	

金城学院目的指定寄付金

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では、2016年11月から2017年5月末日までにご寄付いただいた方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。

今、日本の教育現場そして学生・生徒たちが卒業して活躍する社会環境は、日々変化しています。移り変わる時代に対応するために、金城学院では、諸設備及び教育研究環境の充実を

図り、教育効果の向上を期するための取り組みを行っております。

2012年度より10年かけて中高大の教育施設の大規模リニューアル(KMP21)を進めています。また、金城サポート奨学金をはじめとして13種もの独自奨学金制度を用意するなど、内外の教育環境の充実を図り、学生・生徒たちが安心して学び、過ごせる学院づくりを推進しています。

これらの取り組みを推進またはサポートするためには多大な経費が必要です。福音主義キリスト教に基づく女性教育、全人教育、国際理解の教育の想いを堅持し、金城学院を支えてきた先達たちの想いを確実に次につなげるため、教職員一同より一層努めてまいりますので、今後とも温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

寄付金ご芳名録 (2016年11月～2017年5月末日までにいただいたご寄付をご報告させていただきます)

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
在校生ご父母	20	学生・生徒へ	175,000
一般有志	5	キャンパス環境整備へ	215,000
教職員(元)	7	文化事業へ	30,000
卒業生	31	国際交流へ	120,000
その他	5	地域との交流へ	0
総計	68	学院全体へ	2,825,000
		その他	4,275,000
		総計	7,640,000

林原 田	まどか 一子	市 荒石	川 居塚	孝 秀	宏 雄	植 林	田 川	千 哲	春 也	神 土	農 屋	光 子	子 愛
岡 田	豊 保	荒 石	居 塚	秀 誠	雄 誠	林 森	川 口	哲 信	也 義	土 前	屋 田	子 剛	愛 孝
鈴 木	美 奈	石 豊	塚 田	江 幸	美 雄	山 木	村 本	佳 尚	仁 嗣	太 柳	田 部	千 津	子 江
川 後	光 男	豊 加	垣 藤	幸 邦	子 音	山 吉	田 本	英 千	鶴 子	中 川	木 敏	尾 上	昭 子
小 藤	万里 子	加 犬	藤 藤	潮 保	夫 子	島 坂	口 龍	宗 龍	一郎	丸 木	壁 幸	近 眞	由 美
加 藤	歌 子	犬 種	中 田	美 佳	子 子	一 木	井 智	洋 智	子 子	青 横	山 喜	久 彦	雅 彦
寺 川	美 惠	田 種	村 喜	代 子	三 枝	浅 井	笑 会	中 部	支 部	司 宏	伊 藤	春 子	子 子
大 家	博 幸	竹 渡	三 品	三 枝	子 子	佐 久	問 宏	司 宏	子 子	伊 藤	春 子	子 子	子 子
関 中	志 津	三 品	喜 代	子 子	三 枝	佐 久	問 宏	司 宏	子 子	伊 藤	春 子	子 子	子 子
林 川	洋 美	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社	株 式 会 社
前 田	秀 之	中 村	村 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正	治 正

金城学院維持協力会

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な

助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現

在、東海地区を代表する有力企業など法人会員73社、個人会員9名にご賛同いただき、ご入会いただいております。

Kinjo Gakuin Information

金城学院インフォメーション

金城学院

第66回メサイア演奏会
 [日時] 11月23日(木・祝) 16:30～
 [場所] 日本特殊陶業市民会館フォレストホール
 [入場券] 自由席 1,500円
 [お問い合わせ] 中学校事務室
 TEL. 052-931-0821

金城学院大学

**『OPEN CAMPUS 2017』
金城で学ぶ価値がわかる3日間**
 [日時] 7月 9日(日) 9:30～15:30
 8月11日(金・祝) 9:30～15:30
 10月21日(土) 10:00～15:00
 ※10月21日(土)は金城祭同時開催。
 ※イベント内容についてはHPをご覧ください。
 [お問い合わせ] 大学入試広報部
 TEL. 0120-331791(入試相談フリーダイヤル)
 http://www.kinjo-gakuin.net (PC用)

金城学院高等学校

**『しらゆり祭』開催
『今、届けたい!』**
 [日時] 9月22日(金)オープニング(在校生のみ)
 9月23日(土・祝)一般公開日
 9:15～14:30(予定)
 ※入場にはチケットが必要です。
 [場所] 高等学校
 [お問い合わせ] 高等学校事務室
 TEL. 052-931-6236

金城学院高等学校

**2017年度金城学院高等学校PTA講演会
武田双雲氏
『ポジティブの教科書
～一瞬で人生が変わるスキル～』**
 [日時] 11月16日(木)
 11:00～12:30(10:30開場)
 [場所] 高等学校栄光館講堂
 [お問い合わせ] 高等学校事務室
 TEL. 052-931-6236

金城学院中学校

**『恵愛祭』開催
『はばたけ未来の大空へ YOU CAN FLY!』**
 [日時] 10月27日(金)在校生のみ
 10月28日(土)一般公開日
 10:00～14:30(予定)
 ※入場にはチケットが必要です。
 [お問い合わせ] 中学校事務室
 TEL. 052-931-0821

金城学院中学校

**2017年度PTA講演会
岸見一郎氏
『嫌われる勇気』**
 [日時] 10月5日(木)
 13:00～14:30(予定)
 ※入場にはチケットが必要です。
 [場所] 中学校講堂
 [お問い合わせ] 中学校事務室
 TEL. 052-931-0821

金城学院幼稚園

父母の会バザー
 父母の会の手作り・献品コーナー、卒園生・在園児によるお店屋さんなどがあります。
 [日時] 9月16日(土)
 10:00～14:00
 ※雨天決行。警報発令時は9月18日(月・祝)に変更となります。
 [場所] 幼稚園
 [お問い合わせ] 幼稚園事務室
 TEL. 052-798-0053



私にとっての金城学院 vol.03



刺激を与えてくれる
友達がたくさんいます。

金城学院高校3年
黒田 小百合さん



金城学院高校3年
加藤 万奈さん

中高一貫教育で
友達と友情が深まります。



Q & A

01 金城学院高等学校の魅力は何だと思いますか？

黒田 聖書が学べるところです。管弦楽部でメサイヤを演奏しますが、より深く曲を理解して演奏することができます。また友達も明るく優しい子ばかりです。

加藤 先生が個性を尊重してください。私はピアノが好きなので、礼拝などで毎年オルガンを弾く機会を与えてくださり、とても嬉しいです。

02 これからの夢や展望を教えてください。

黒田 管弦楽部で演奏の楽しさに出会いました。将来は人を明るい気分にし、感動を与えられるような音楽に関係する仕事に就けたらいいなと思います。

加藤 幼いころから憧れだった医療関係の仕事に就きたいと思います。患者さんと同じ目線に立って、親身になってアドバイスできる人になりたいです。

03 高等学校に入って、自分が変わったと思うことは？

黒田 後輩に見られて恥ずかしくない態度でいようと思うようになりました。先生や先輩に対する態度や、きちんと挨拶することなどを心がけています。

加藤 行事などクラスで協力し合うときに、自分が何をすべきか考えて行動できるようになりました。相手の気持ちも考えられるようになったと思います。

2017年度
聖句標語

『主があなたを祝福し、
あなたを守られるように。』

旧約聖書 民数記 6章24節

このみ言葉は、「神さまに祝福され、神さまに守られるように」と願っている聖句です。しかし、すでに「神さまの祝福と守りを受け取っている」という安心感に満ちている聖句でもあるのです。その安心感の中で、私たち金城学院に連なる者は、今年度も精一杯に歩んでゆきたいということです。

また、このみ言葉は、多くの教会では、礼拝が終わる最後のところで、いつも読まれます。つまり、このみ言葉を聞いて、教会を出発するのです。この世へと、自分の生活へと遣わされてゆくのです。たとえ、どんな試練が待っていようと、乗り越えてゆく力を、神さまからかならず与えられるのです。

神さまは、このみ言葉の通り、私たちに祝福して下さり、守ってくださる方です。新しい私たちのチャレンジを、喜んで下さり、支えてくださるのです。私たちが倒れていたら、手を差し出し、私たちの肩を抱いて、一緒に歩いてくださるのです。そのことを信じて進む、1年でありたいと願います。

沖崎 学 (金城学院高等学校宗教主事)

～みどり野会(同窓会)より～

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です
『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)
旧約聖書詩篇第23篇から名付けられました
「主はわが^{ぼしゅ}牧者なり われ^{われ}乏しきことあらじ
主は我をみどりの野にふさせ いこいの^{みどりの}水濱にともなひたまふ」
神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後母校に集まり いこいの時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです

みどり野会からのお知らせ

召天者記念礼拝および恩師を偲ぶ会

■日 時 / 2017年10月14日(土) 10:00～11:15
■場 所 / エラ・ヒューストン記念礼拝堂
2016年7月～2017年6月までに亡くなられた恩師と卒業生のための追悼礼拝です。どなたでもご参加いただけます。

第2回大学ホームカミングデー

■日 時 / 2017年10月14日(土) 12:00～15:30
■場 所 / 大学キャンパス

クリスマス讃美礼拝

■日 時 / 2017年12月9日(土) 10:30～13:30
■場 所 / 中学校白百合館礼拝堂(駐車場は利用不可)
クリスマス讃美礼拝とテナー独唱のミニコンサートを予定しています。

◎お問合せはみどり野会事務局まで

本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)
分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)
H P http://www.kinjo-midorino.com

※活動情報は会報「みどり野」をご覧ください